

II. 事業の概要

【事業計画の進捗・達成状況ならびに主な教育・研究概要】

1. 教学関係（昭和音楽大学・同短期大学部）

- 1) 海外研修
- 2) 招聘教授
- 3) 芸術特別研究

2. 演奏会関係

- 1) 演奏会
- 2) テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ活動報告
- 3) 生涯学習講座

3. 研究所関係

- 1) オペラ研究所
- 2) バレエ研究所
- 3) 舞台芸術政策研究所
- 4) 歌曲研究所
- 5) アートマネジメント研究所
- 6) 音楽療法研究所
- 7) 音楽教育研究所
- 8) ピリオド音楽研究所

4. 附属教室関係

- 1) 附属音楽・バレエ教室
- 2) 附属ピアノアートアカデミー

【中長期計画 2020-2024】

- 学校法人東成学園ビジョン・基本戦略
- 財務に関する中長期計画

海外研修

1. イタリア研修

日本で学んだヨーロッパの文化について、現地の社会と芸術に直接触れることにより更に見識を深め、実技レッスンやアンサンブル等の授業を本学研修所で集中的に受講することにより、学生各自の感性・芸術性等の向上を目的として実施している。

2019年度は、この研修は実施できたものの、必修科目の長期研修B団は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。また、ヨーロッパ見学研修は希望者が少なく開催に至らなかった。

海外研修 I	2019年度 実績	参加人数
長期A団（ピアノ）	2月6日～2月23日	17名
長期B団（声楽）	新型コロナウイルスのため中止	35名
海外研修II		
ヨーロッパ実技	8月26日～9月4日	14名
海外研修IV		
ヨーロッパ見学	開催せず（10名未満）	0名

2. 英語研修

「英語研修」はアートマネジメントコース

および舞台スタッフコース必修科目として実施している。

2019年度は2月22日から2月25日にかけて福島県お語学研修施設で実施。

3. アートマネジメント・舞台スタッフ研修

例年アートマネジメントコースおよび舞台スタッフコースの選択科目「海外研修II」として、また、大学院修士課程の「海外研修V」（個人研修）、「海外特別研修①②」として合同で実施している。イギリスとイタリアの芸術関連施設や美術館等を訪問・見学し、現地の舞台関係者による特別講義を実施している。

2019年度は3月9日から3月19日にかけて実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

4. バレエロンドン研修

例年、大学・短大のバレエコース合同で「海外研修II」、「海外研修V」の選択科目として実施している。2019年度は2月28日から3月8日にかけて実施予定であったが、

新型コロナウイルスの影響により中止となった。

5. ミュージカル実技研修

例年、ニューヨークの総合ダンススクール「ステップス」及び「BDC」でダンスのレッスンを中心に実施している。2019年度は3月2日から3月12日にかけて実施予定であったが、参加予定者数が10名に満たなかったため中止となった。

6. ニューヨーク見学研修

例年、海外研修ⅡD」として開講し、ミュージカル実技研修「海外研修ⅡC」と同日程でニューヨーク市内見学を中心とした研修として実施している。2019年度は3月2日から3月12日にかけて実施予定であったが、参加予定者数が10名に満たなかったため中止となった。

イタリア研修所利用状況

期間	日数	利用目的	利用者(人)				
			本学学生	本学教職員	招聘講師等	地域住民等	その他
2019 8月26日～9月2日	8	実技研修 (ピアノ・声楽)	14	4	3	0	
2020 2月7日～2月19日	13	長期研修 (ピアノ)	17	4	11	10	
2020 2月26日～3月8日	12	長期研修 (声楽)	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大のためキャンセル
2020 3月15日～3月18日	4	海外研修(イタリア・ロンドン) アートマ・舞台スタッフコース(選択)	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大のためキャンセル
計			31	8	14	10	
			63				

※ 本学研修における、「地域住民等」は研修中に開催する演奏会聴衆者を示す。

海外招聘指導者

○2019年度実績

- | | | |
|---------------------------|-------------|--------------|
| 1. ジョン・オコーナー(ピアノ) | 5月7日～19日 | レッスン、公開講座 |
| 2. ユージン・コーポロン(吹奏楽) | 5月26日～6月2日 | 授業 |
| 3. 葛 毅(声楽) | 5月24日～6月2日 | 個人レッスン |
| 4. ペーター・ルーカス・グラーフ(フルート) | 8月1日～3日 | 個人レッスン・コンサート |
| 5. ジャクリーン・ヴェント(ミュージカル・振付) | 9月5日～12日 | レッスン |
| 6. ニコラ・パスコフスキー(大学オペラ・指揮) | 9月10日～10月6日 | 授業 |

2019年度 芸術特別研究 実施演目一覧

【分野区分】 A：クラシック音楽 B：オペラ・バレエ・ミュージカル・演劇 C：ジャズ・ポピュラー・その他 D：邦楽・日本古典芸能

回数	日程	曜日	名称	会場	分野区分	備考
1	4月13日	土	アルテリッカプレ 2019若きアーティストたちの響演 ～昭和音楽大学同侪会とともに～	ユリホール	A	
2	4月14日	日	アルテリッカプレ 2019若きアーティストたちの響演 ジャズ・ポ ピュラーライブ～昭和音楽大学同侪会とともに～	新百合21ホール	A	学外公演
3	4月21日	日	アルテリッカプレ 2019若きアーティストたちの響演 ミュージカル ショーケース「START OUT!」～昭和音楽大学同侪会とともに～	北校舎スタジオ・リ リエ	A	
4	4月21日	日	アルテリッカプレ 2019若きアーティストたちの響演 ミュージカル ショーケース「START OUT!」～昭和音楽大学同侪会とともに～	北校舎スタジオ・リ リエ	A	
5	4月21日	日	アルテリッカ Jazz Japonesque 小山太郎 トリオ & Special Guest 東 儀秀樹 with 伊丹雅博	ジーリオ	A	
6	4月27日	土	〈アルテリッカしんゆり2019 オープニング公演〉藤原歌劇団公演 「蝶々夫人」	ジーリオ	B	
7	4月28日	日	〈アルテリッカしんゆり2019 オープニング公演〉藤原歌劇団公演 「蝶々夫人」	ジーリオ	B	
8	4月28日	日	アルテリッカ 国府弘子プロデュース「あなたが愛したスタンダード ～佐山雅弘に捧ぐ～」	新百合21ホール	A	学外公演
9	4月29日	月・祝	アルテリッカ フルート・デュオ コンサート 工藤重典&清水信貴	ユリホール	A	
10	4月29日	月・祝	アルテリッカ 和太鼓梵天コンサート2019	麻生市民館大ホール	C	学外公演
11	5月2日	木・休	アルテリッカ 昭和音楽大学アートマネジメントコース 企画制作演習 企画公演 Vol.1 音彩～マリンバが魅せる無限大の可能性～	ユリホール	A	
12	5月3日	金・祝	アルテリッカ演芸座 近未来名人寄席①	新百合21ホール	C	学外公演
13	5月3日	金・祝	アルテリッカ 小森谷巧と仲間たちによる室内楽名曲コンサート	ユリホール	A	
14	5月4日	土	第89回読売新聞社主催新人演奏会	東京文化会館	A	学外公演
15	5月4日	土	アルテリッカ演芸座 近未来名人寄席②	新百合21ホール	C	学外公演
16	5月5日	日	第89回読売新聞社主催新人演奏会	東京文化会館	A	学外公演
17	5月6日	月・休	〈アルテリッカしんゆり2019 フィナーレ公演〉東京交響楽団と若き 天才ピアニスト・牛田智大の二大名曲	ジーリオ	A	
18	5月11日	土	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演「シンデレラ」	ジーリオ	B	
19	5月12日	日	アルテリッカ スターダンサーズ・バレエ団公演「シンデレラ」	ジーリオ	B	
20	5月14日	火	推薦演奏会①	ユリホール	A	
21	6月1日	土	ウインド・シンフォニー定期演奏会	ジーリオ	A	
22	6月4日	火	作曲作品発表	ユリホール	A	
23	6月5日	水	ピリオド音楽研究所第25回公開講座	C511	A	
24	6月6日	木	教員、研究員発表①	ユリホール	A	
25	6月9日	日	笛田博昭&ヴィンチェンツォ・スカレーラ リサイタル	ジーリオ	A	

回数	日程	曜日	名称	会場	分野 区分	備考
26	6月11日	火	推薦演奏会②	ユリホール	A	
27	6月15日	土	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	学外公演
28	6月16日	日	歌舞伎（日本伝統音楽演習との乗入れ）	国立劇場	C	教職流用不可
29	6月21日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	A	学外公演
30	6月22日	土	室内合奏団定期演奏会	ユリホール	A	※授業調整日
31	6月22日	土	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演 ※授業調整日
32	6月29日	土	テアトロ・ジューリオ・ショー・オーケストラ定期演奏会	ジューリオ	A	
33	6月30日	日	吹奏楽特別演奏会	ジューリオ	A	
34	7月14日	日	善竹狂言会 狂言「髭櫓」等	国立能楽堂	C	
35	7月17日	水	ピリオド音楽研究所第26回公開講座	C511	A	教職流用可
36	7月18日	木	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演 ※授業調整日
37	9月19日	木	蘇州民族管弦楽団初来日公演2019	サントリーホール	A	
38	9月21日	土	英語劇「マクベス」	スカラ/リリエ	B	
39	9月22日	日	ブロードウェイ・ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」 来日公演	IHIステージ アラウンド東京	B	
40	9月24日	火	文楽（日本伝統音楽演習との乗入れ）	ユリホール	C	教職流用 不可
41	9月27日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	A	学外公演
42	9月28日	土	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演
43	10月5日	土	大学オペラ公演2019	ジューリオ	B	
44	10月6日	日	大学オペラ公演2019	ジューリオ	B	
45	10月10日	木	教員、研究員発表②	ユリホール	A	
46	10月15日	火	推薦演奏会③	ユリホール	A	
47	10月16日	水	銀座の夜の狂言会 狂言「宗論」等	観世能楽堂	C	
48	10月17日	木	銀座の夜の狂言会 狂言「宗論」等	観世能楽堂	C	
49	10月23日	水	室内楽定期演奏会	ユリホール	A	
50	10月26日	土	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演
51	10月27日	日	コンチェルト定期演奏会	ジューリオ	A	
52	10月29日	火	学長賞声楽コンクール本選	ジューリオ	A	
53	11月7日	木	作曲学科作品・研究発表	ユリホール	A	
54	11月7日	木	Jazz Bar Glamorous Night スペシャルゲスト・吉田栄作	新百合トゥ エンティワンホール	A	
55	11月8日	金	Jazz Bar Silky Smooch Night 秋田慎治 トリオ スペシャルゲスト・TOKU	新百合トゥ エンティワンホール	A	
56	11月10日	日	エリック・ミヤシロ・スペシャル・ビッグバンド コンサート&ジャ ンボリー	ジューリオ	A	
57	11月12日	火	推薦演奏会④	ユリホール	A	
58	11月15日	金	教員、研究員発表③	ユリホール	A	
59	11月15日	金	オペラ《貞節の勝利》	ジューリオ	B	
60	11月16日	土	バロックコンサート	ジューリオ	A	
61	11月17日	日	オペラ《貞節の勝利》	ジューリオ	B	
62	11月22日	金	しんゆりジャズスクエア	アートセンター	A	学外公演

回数	日程	曜日	名称	会場	分野 区分	備考
63	11月23日	土	管弦楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
64	11月23日	土	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演
65	11月30日	土	音大オーケストラ・フェスティバル	東京芸術劇場	A	学外公演 ※授業調整日
66	12月1日	日	学部バレエ試演会・卒業公演	ジーリオ	B	
67	12月3日	火	弦管打楽器指導者コース発表会	ジーリオ	A	
68	12月5日	木	電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	
69	12月9日	月	昭和音楽大学アートマネジメントコース 企画制作演習企画公演V ol.2 「Borderless Songs－性別を越える音楽たち－」	ユリホール	A	
70	12月14日	土	メサイア	ジーリオ	A	
71	12月15日	日	SORORI狂言「花子」等	国立能楽堂	C	
72	12月15日	日	吹奏楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
73	12月21日	土	しんゆり寄席	アートセンター	C	学外公演
74	12月22日	日	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	ジーリオ	B	
75	12月29日	日	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A	
76	11月25日	日	管弦楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
77	11月29日	木	電子オルガン定期演奏会	ユリホール	A	
78	12月1日	土	音大オーケストラ・フェスティバル	ミュージザ川崎	A	学外公演
79	12月2日	日	学部バレエ試演会・卒業公演	ジーリオ	B	
80	12月4日	火	弦管打楽器指導者コース発表会	ジーリオ	A	
81	12月8日	土	スターダンサーズ・バレエ団「くるみ割り人形」	ジーリオ	B	
82	12月9日	日	スターダンサーズ・バレエ団「くるみ割り人形」	ジーリオ	B	
83	12月15日	土	メサイア	ジーリオ	A	
84	12月16日	日	吹奏楽団定期演奏会	ジーリオ	A	
85	12月16日	日	善竹富太郎の狂言会SORORI	千駄ヶ谷 国立能楽堂	D	学外公演
86	12月22日	土	しんゆり寄席	アートセンター	D	学外公演
87	12月24日	月・祝	ミュージカル・舞台スタッフコース卒業公演	ジーリオ	B	
88	12月29日	土	テアトロ・ジーリオ・ショウ・オーケストラ第九演奏会	ジーリオ	A	

演奏会・講座・提携事業等

I 演奏会

2019年度実績

月日	曜日	名称	会場
4月1日	月	平成31年度 入学式奏楽・祝賀演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
5月12日～16日	日～木	日豪文化交流事業（ジャズ交流 WAYJO来日）	マンダリンオリエンタルホテル東京
5月14日	火	第1回推薦演奏会	ユリホール
6月1日	土	吹奏楽団 昭和ウインド・シンフォニー第20回定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
6月4日	火	第21回作曲学科作品発表	ユリホール
6月6日	木	教員・研究員研究発表①	ユリホール
6月11日	火	第2回推薦演奏会	ユリホール
6月22日	土	室内合奏団第9回定期演奏会	ユリホール
6月30日	日	学部ミュージカルコース(3年) 前期成果発表会	スタジオ・リリエ
6月30日	日	吹奏楽団特別演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
7月13日	土	学部ミュージカルコース(4年) 前期成果発表会	スタジオ・リリエ
7月15日～17日	月祝～水	読売日本交響楽団「惑星」（合唱参加）	横浜みなとみらいホール/サントリーホール /フェスティバルホール（大阪）
7月20日～21日	土・日	河口湖音楽祭	河口湖円形ホール 他
8月2日	金	ペーター＝ルーカス・グラーフ Fl.リサイタル	ユリホール
8月6日	火	短大バレエコース（1, 2年）前期試演会	スタジオ・リリエ
8月9日	金	フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI2019 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オー	ミュージザ川崎 シンフォニーホール
9月17日～23日	火～月祝	日豪文化交流事業（ジャズ交流 渡豪）	オーストラリア
9月19～21日	木～土	昭和音楽大学&ソウル市立大学校 日韓大学交流コンサート	ソウル市立大学校
9月28日	土	大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル	ウェスタ川越
10月5日	土	文化庁 平成31年度 大学における文化芸術振興事業 大学オペラ公演2019「フィガロの結婚」 （日中韓 新進歌手交流オペラプロジェクト）	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月6日	日	〃	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月10日	木	教員・研究員研究発表②	ユリホール
10月15日	火	第3回推薦演奏会	ユリホール
10月18日	金	第8回アンサンブルコンクール	ユリホール
10月23日	水	第17回学長賞声楽コンクール 予選	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月27日	日	第26回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月29日	火	第17回学長賞声楽コンクール 本選	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
11月12日	火	教員・研究員研究発表③	ユリホール
11月15日	金	第4回推薦演奏会	ユリホール
11月23日	土	管弦楽団第38回定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ

月日	曜日	名称	会場
11月30日	土	第10回音楽大学オーケストラ・フェスティバル（昭和・東邦・桐朋）	東京芸術劇場
12月1日	日	学部バレエコース試演会・卒業公演	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月5日	木	第17回電子オルガン定期演奏会	ユリホール
12月6日	金	読売日本交響楽団「マーラー交響曲第3番」（合唱参加）	東京芸術劇場
12月14日	土	第44回メサイア	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月15日	日	吹奏楽団第33回定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月22日	日	ミュージカルコース・舞台スタッフコース卒業公演「Seussical」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月23日	月	短大バレエコース（1, 2年）後期試演会	スタジオ・リリエ
1月19日	日	学部ミュージカルコース(3年) 後期成果発表会	スタジオ・リリエ
2月9日	日	大学院修士課程修了オペラ公演「伊・カレ・エロ」「奥様女中」「カブレテイ家とモンテッキ家」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
2月16日	日	短大バレエコース卒業公演	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
2月22日	土	大学院室内楽コンサート	ユリホール
2月28日	金	文化庁委託事業2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 「日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業」第2期試演会 (公開取り止め)	ユリホール
3月1日	日	学部・短大ジャズ・ポピュラー音楽コース卒業ライブ (公開取り止め)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
3月18日	水	卒業演奏会 (公開取り止め)	ユリホール
3月19日	木	〃 (公開取り止め)	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
3月20日	金祝	卒業式奏楽 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
3月28日	土	第9回音楽大学フェスティバル・オーケストラ—中止	ミューザ川崎 シンフォニーホール
3月29日	日	第9回音楽大学フェスティバル・オーケストラ—中止	東京芸術劇場

II 演奏会（テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ）

2019年度実績

<本学主催>

月日	曜日	名称	会場
6月29日	土	第19回定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
10月27日	日	第26回コンチェルト定期演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月29日	日	第九演奏会	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
3月7日	土	第20回定期演奏会 中止	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
8月9日	金	フェスタ・サマーミュージザKAWASAKI2019 昭和音楽大学管弦楽団×テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ	ミュージザ川崎 ｼﾝﾌｻﾞﾆｰﾎｰﾙ

<外部主催公演>

月日	曜日	名称	会場
4月27日	土	藤原歌劇団公演「蝶々夫人」全2幕	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
4月28日	日	藤原歌劇団公演「蝶々夫人」全2幕	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
5月11日	土	スターダンサーズ・バレエ団「シンデレラ」全2幕	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
5月12日	日	スターダンサーズ・バレエ団「シンデレラ」全2幕	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
6月9日	日	麻生合唱団第28回定期演奏会	麻生市民館
9月1日	日	歌劇「トスカ」（ハーモニーホール座間・オペラワークショップ参加作品）	ハーモニーホール座間 大ホール
12月7日	土	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月8日	日	スターダンサーズ・バレエ団公演「くるみ割り人形」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
12月28日	土	OPクレジットカード貸切公演「第九演奏会」	テアトロ・ジーリオ・ショウワ
1月19日	日	ニューイヤーコンサート 第9回ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」	伊勢原市民文化会館大ホール

Ⅲ. 生涯学習講座・提携事業

2019年度実績

< 本学主催 >

月日	曜日	名称	会場
通年（隔週）	日	しょうわジュニア・オーケストラ ※前期は、かわさきジュニア・オーケストラに参加・活動	南校舎教室
通年	土・日	ピアノ指導法講座	南校舎教室
5月～9月	月	日本歌曲を歌おう！2018（前期） 全10回 5/13、27、6/10・24、7/8・22、8/5・26、9/2、9/7	北校舎教室他
6月6日	金	文化庁委託 2019年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 日本のオペラ作品をつくる 第2回 公開ワークショップ	ユリホール
6月19日	水	学長カフェVol.5 啓蒙主義と音楽～テレマン～	ユリホール
6月20日	日	大学オペラ公演プレ講座Ⅰ モーツアルトのオペラ・ブッフア ～「ダ・ポルテ三部作」の現代性～	南校舎C511
7月7日	日	音楽療法講座【高齢者領域】第1回 介護予防の音楽療法－お話と実際－	南校舎C511
9月7日	土	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 1. 音楽・楽譜制作講座（Finaleを使って）	南校舎C411
9月8日	日	音大で学ぶ!! コンピュータ講座 2. デジタル作編曲講座（Studio One Primeを使って）	南校舎C411
9月8日	日	大学オペラ公演プレ講座Ⅱ 「フィガロの結婚」の楽しみ方～登場人物の性格と音楽の関係～	南校舎C511
10月20日	日	音楽療法講座【高齢者領域】第2回 高齢者と楽しむ音楽－実践編－	南校舎C103
9月24日	火	特別授業一般公開 日本伝統音楽演習「文楽」	ユリホール
10月～2月	月	日本歌曲を歌おう！2018（後期） 全10回 10/21・28、11/11・25、12/16・23、1/6・20、27、2/1	北校舎教室
10月4日	金	大学オペラ公演 ゲネプロ見学会	テアトロ・ジューリオ・ショウワ
10月12日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2019－ベートーヴェン－ 第1回	南校舎A311
11月14日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2019－ベートーヴェン－ 第2回	南校舎A311
11月29日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2019－ベートーヴェン－ 第3回	南校舎A311
12月19日	土	教養講座 2時間で学ぶ作曲家2019－ベートーヴェン－ 第4回	南校舎C511
11月9日	土	音大で学ぶ!!DTM講座〔Basic〕	南校舎C411
11月10日	月	音大で学ぶ!!DTM講座〔Advance〕	南校舎C411
3月8日	日	音楽療法講座【高齢者領域】第3回 認知症の方から健康な方まで－心身の状態に合わせたアプローチ－ 中止	南校舎C511
3月9日	月	日本歌曲を歌おう！特別講座－中止	南校舎A316
3月22日	日	しょうわジュニア・オーケストラ 第15回定期演奏会－延期予定	テアトロ・ジューリオ・ショウワ

<共催>

月日	曜日	名称	会場
認定NPO法人かわさき市民アカデミー			
5月～7月	水	イタリアロマン主義オペラの黎明 ～ドニゼッティとベッリーニ～ 5/8・22、6/5・19、7/3・17	ラ・サーラ・スカラ
9月～1月	水	イタリア・オペラの巨人 ヴェルディ～ドラマと音楽の融合～ 10/1、10/15・29、11/12、11/26、1/21	ラ・サーラ・スカラ
月日	曜日	名称	会場
株式会社 プレルーディオ			
通年	月・火・水・木	オペラ歌手と日本の名曲を歌う会（全12回） 4/18、5/15、6/18、7/17、8/22、9/19、10/24、11/18、12/12、1/20、2/26、 3/19 中止	ユリホール
6月30日	日	SHOWAミュージック・カフェ2019① 「華麗なる器楽の世界」	ユリホール
9月29日	日	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.21	ユリホール
11月23日	土・祝	SHOWAミュージック・カフェ2019② 「声楽コンサート“La CoMeTa”」	ユリホール
3月22日	日	SHOWAミュージック・カフェ2019③ 「ヴァイオリン&ピアノ“デュオ・ルミナリエ”、声楽&ピアノ“Le Soleil”」中止	ユリホール
3月14日	土	～あなたも名演奏家～ おとなのコンサート Vol.22 中止	ユリホール

<提携事業>

新冠町提携事業（新冠町／北海道）
1. 音楽団体演奏クリニック 2. 新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサート
かわさきジュニア・オーケストラ（公益財団法人川崎市文化財団）

附属機関の活動

《附属図書館》

所蔵資料数は約 17 万冊（タイトル）、閲覧席約 280 席を備え、平日は午前 8 時 45 分から午後 7 時 15 分、土曜日は午前 10 時から午後 5 時まで開館し、多角的なサービスを行っている。また、これから音大受験を考えている高校生以上の方にも学修の場として図書館を開放している。

平成 29 年 4 月には、館内レイアウトを一部変更するとともにラーニングコモンズを設置し、12 月には、利用者の安全を考慮して、ID カードを利用した入退館ゲートシステムを新たに導入した。

図書館では、資料の収集、登録、管理・保管を行うとともに、利用者の学修や研究を支援するため、閲覧、貸出、レファレンス等のサービスを提供している。また、「昭和音楽大学研究紀要」を毎年作成しウェブ上に公開している。さらに平成 29 年度より、博士後期課程修了生による博士論文も公開している。

現在所蔵している資料の情報はデータ化されており、館内に検索用端末 OPAC を設置し、情報を提供している。OPAC は公開していて、外部からの検索が可能になっている。大学が契約しているデータベースも、一定の制限のもとにほとんどが学外からアクセスできるようになっている。

平成 30 年度は図書館システムリプレースを行い、2019 年度から本格稼働している。

《オペラ研究所》

○オペラ研究所の事業

昭和音楽大学オペラ研究所は、昭和音楽大学の建学の精神に基づき、総合芸術たるオペラおよびその関連領域について研究することを目的とする。

【研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

家安 勝利 昭和音楽大学事務局長付部長/非常勤講師

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

小畑 恒夫 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵	昭和音楽大学准教授
直野 資	昭和音楽大学客員教授
仁科 岡彦	昭和音楽大学教授
袴田 麻祐子	昭和音楽大学オペラ研究所嘱託研究員
吉原 潤	昭和音楽大学専任講師

● 2019 年度活動内容

① 文化庁／（公社）日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕主催による実演芸術国際シンポジウムへの制作協力

芸団協からの依頼を受け、「国際共同制作」から見る、ヨーロッパを中心とする世界のオペラ創造の最前線を知るための国際シンポジウムへの制作協力を当研究所が行った。

講演会では世界で求められている人材像について、また欧州の最前線の状況について紹介され、後半のパネルディスカッションではこれからの舞台芸術制作において、アジアとヨーロッパとがどのように協働していけるのか、また、日本からどのような発信が可能かについて議論された。行政、実務者等約 180 名の参加者を集める活況を呈し、オペラ研究所が国際会議の制作を受託する能力があることを示すことができた。

文化庁「2019 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業〔実演芸術連携交流事業〕」
実演芸術国際シンポジウム「舞台芸術における国際共同制作の最前線 -World Opera Meeting in Tokyo 2020」

2020 年 1 月 17 日（金）14:00～16:30

[パネリスト]

ニコラス・ベイン（オペラ・ヨーロッパ・ディレクター）

ヤン・ヴァンデンハウア（フランダース・オペラ・バレエ オペラ芸術監督）

山口 毅（公益財団法人東京二期会 事務局長）

[モデレーター] 石田麻子（昭和音楽大学 教授、オペラ研究所 所長）

制作協力 昭和音楽大学

後援 オランダ王国大使館／ブリティッシュ・カウンシル／公益社団法人全国公立文化施設協会／劇場、音楽堂等連絡協議会

主催 文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕

② ソルボンヌ大学音楽学研究所（IReMus, Institut de Recherche en Musicologie）との学術協定締結

ソルボンヌ大学音楽学研究所（IReMus）は、フランスにおける音楽学分野の総合的な研究機関として、2014 年に複数の関係機関を統合して設立された。IReMus における研究は、中世から現代までの幅広い時代とジャンルの音楽をカバーし、音楽学のほとんどの下位分野（歴史のおよび体系的音楽学、民族音楽学、現代のマス・カルチャーの研究、音楽に関

する制度、音楽社会学、認知心理学、音楽美学等）に対応している。また、IReMus は、フランス文化省とフランス国立図書館との連携により、国内の音楽文化財を価値づけていくというミッションを遂行している。

当研究所は、本協定により、IReMus との人的交流や情報・資料の交換、共同研究等を積極的に行い、オペラに関する研究の国際的な広がりに向け活発な相互交流を展開していく。

③ 日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集

音楽評論家の関根礼子氏を中心に、日本国内におけるオペラ団体の活動実態調査と資料収集を継続して行った。蓄積した情報は、『日本のオペラ年鑑』編纂に活かされるほか、オペラ関係者の要望に応じて提供される。

④ 『日本のオペラ年鑑 2018』の編纂・刊行

本学の石田麻子教授を編纂委員長とし、日本国内で行われたオペラ公演についての記録と分析記事を掲載する『日本のオペラ年鑑 2018』を編纂・刊行した。本事業は平成 8 年度から継続的に行われているもので、本年度は文化庁委託事業「2019 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として本学が受託した。

【編纂委員（五十音順、敬称略）】

石田 麻子：本学教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクター（調査研究分野）〔編纂委員長〕

江藤 光紀：筑波大学人文社会系准教授

小畑 恒夫：本学教授

河野 典子：音楽評論家

関根 礼子：音楽評論家、公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団 理事

堀内 修：音楽評論家

【執筆者】

大田美佐子：神戸大学大学院准教授

⑤ オンラインデータベース『オペラ情報センター』の運営

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 24～28 年度）により構築したオンラインデータベース『オペラ情報センター』へのデータ入力について、文部科学省の補助事業としては平成 29 年度で終了となったが、当研究所の事業として継続して入力を実施し、データの拡充を行った。

⑥ 新国立劇場との提携

本学が公益財団法人新国立劇場運営財団と交わした研究成果やデータの相互貸与に関する覚書にもとづき、当研究所が引き続きその窓口となった。

《バレエ研究所》

昭和音楽大学バレエ研究所は国内唯一の大学附属バレエ研究機関として平成 18 年に設立された。日本におけるバレエ教育やバレエ文化について調査・研究を行うことが研究所の目的である。2019 年度は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ情報センター機能の構築」事業を軸として活動を行った。本事業の趣旨はバレエ関連資料やデータをバレエ研究所において一元的に整理・保存し、公開することで、本研究所に日本でも有数のバレエ情報拠点を構築することである。

【研究員】

所長

小山 久美 昭和音楽大学短期大学部教授

バレエ研究所アドバイザー（五十音順）

石井 清子 東京シティ・バレエ団評議員

海野 敏 東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授／舞踊評論家

牧 阿佐美 新国立劇場バレエ研修所所長

研究員（五十音順）

市瀬 陽子 聖徳大学音楽学部音楽総合学科准教授／昭和音楽大学非常勤講師

岩部 純子 昭和音楽大学専任講師

尾崎 瑠衣 昭和音楽大学・同短期大学部 非常勤講師

勝川 史憲 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授／昭和音楽大学非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学非常勤講師

杉本 亮子 昭和音楽大学非常勤講師

村山 久美子 昭和音楽大学非常勤講師

● 2019 年度活動内容

1. 「バレエ情報センター機能の構築」[平成 27～令和元年度]

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の補助を受け「バレエ情報センター機能の構築」プロジェクトを進めた。本事業はバレエ研究所に、我が国におけるバレエ研究の拠点を形成することが目的である。5 カ年計画の最終年度となる本年度、アーカイブ構築を推し進め、年度末の完成・公開に向けて、さまざまな活動・研究を行った。

【プロジェクト研究員】

研究代表

小山 久美 バレエ研究所所長／昭和音楽大学短期大学部教授

研究員 [学内]（五十音順）

石田 麻子 オペラ研究所所長／昭和音楽大学教授

岩部 純子 昭和音楽大学専任講師

尾崎 瑠衣 バレエ研究所研究員／昭和音楽大学非常勤講師

小尻 健太 昭和音楽大学非常勤講師

研究員 [学外] (五十音順)

海野 敏	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授
大原 永子	新国立劇場 舞踊芸術監督
高野 明彦	国立情報学研究所、東京大学大学院情報理工学系研究科教授
高橋 典夫	一般社団法人日本バレエ団連盟理事長
松澤 慶信	日本女子体育大学体育学部運動科学科教授
溝上 智恵子	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授

① プロジェクト研究員会議の開催

日時：令和元年 9 月 27 日 15 時～16 時

場所：昭和音楽大学南校舎第二会議室

議題：平成 30 年度事業報告と令和元年度事業計画、平成 30 年度収支報告および令和元年度予算、第三者評価組織（外部評価委員）実施報告、研究成果報告提出について 等

② 企画展「日本における『白鳥の湖』」開催

日時：平成 31 年 4 月 27 日、28 日、29 日 10 時～19 時

場所：上野・東京文化会館

上野の森バレエホリディの一部として、日本における『白鳥の湖』受容史について展示を行った。バレエ研究所が所蔵するバレエ資料と、バレエ研究所が構築したバレエアーカイブプロトタイプを活用した成果である。バレエホリディ入場者数は 3 日間で約 8 万 1 千人であった。

③ 学会発表「日本のバレエ公演をデジタルアーカイブ化する」

日時：令和元年 12 月 14 日

場所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス いばらきフューチャープラザ

「人文科学とコンピューターシンポジウム」（じんもんこん 2019）において、尾崎瑠衣研究員がバレエ研究所の行うデジタルアーカイブ構築の取り組みについて、学会発表を行った。

④ バレエアーカイブシステム構築・完成

バレエアーカイブシステムを構築し、年度末の公開に向けて様々な活動を行った。ただデータを表示するだけでなく、集積されたデータを時系列で表示することができるデジタルアーカイブを目指している。

⑤ バレエ関連資料の拡充・整理

年度末の公開に向けてバレエ関連書籍の拡充を行った。またバレエ資料の分類方法を検討し、決定した分類方法に沿って資料の配置を変えるなど、資料の活用においても様々な研究を行った。

⑥ バレエ資料のデジタル化

昨年度に引き続き本研究所が所蔵するバレエ公演プログラムコレクションのデジタル化を行った。研究所でスキャンすることのできない貴重資料等を割り出し、業者に作業を発注した。

⑦ 最終成果報告

5 ヶ年にわたる事業のまとめとして、年度末に最終成果報告書を作成し、文部科学省へ提出する。

2. バレエダンサーの栄養に関する研究

「水中体重秤量法による体脂肪率測定」

本測定は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「バレエ教育現場との連携による日本におけるバレエ教育システムに関する研究」[平成 20～24 年]の一環として、平成 23、24 年度に教育方法研究開発グループが実施した実験であり、以後継続的に実施している女性バレエダンサーの体組成調査である。

実施日：令和元年 9 月 24 日

実施場所：慶應義塾大学スポーツ医学研究センター（日吉キャンパス）

参加者数：3 名

《舞台芸術政策研究所》

昭和音楽大学舞台芸術政策研究所は、舞台芸術政策・マネジメントに関する調査・研究と提案・発信を行うことを目的に、平成 25 年 1 月に設置。関係機関と密接な連携を図りながら、専門的見地からの舞台芸術に関するデータの収集・分析と振興方策の提案を行い、わが国の舞台芸術の発展に寄与する。

【研究員】

所長

石田 麻子 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

赤木 舞 昭和音楽大学非常勤講師

大仁田 雅彦 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

菫澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

吉原 潤 昭和音楽大学専任講師

● 2019 年度活動内容

【文化庁との共同研究の成果発表】

平成 31 年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 2020

全国アートマネジメント・舞台技術研修会への登壇

日時：令和 2 年 2 月 5 日（水）13:00～15:00

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

講座「超・文化政策入門—文化芸術組織の運営から見た各国の文化政策のいま—」

講師：山口 壮八（文化庁地域創生本部・暮らしの文化・アートグループ リーダー）

モデレーター・講師：石田 麻子（舞台芸術政策研究所所長、本学教授）

受講生として、全国から集まった劇場・音楽堂等のマネジメント担当者、自治体関係者など約 300 人が参加し、舞台芸術政策研究所と文化庁による共同研究「東アジアの実演芸術による国際文化交流の展望」の成果発表の機会となった。

【第 37 回 FACP2019in マニラ会議の参加】

期日：令和元年 9 月 18 日（水）～9 月 20 日（金）

会場：フィリピン・マニラ

参加者：下八川 共祐（理事長）、石田 麻子（舞台芸術政策研究所所長、教授）、家安 勝利（国際交流／渉外部長）、菰澤 弘志（客員教授、舞台芸術政策研究所研究員）

【日本音楽芸術マネジメント学会の運営】

① 第 11 回夏の研究会

日程：令和元年 8 月 3 日（土）14:00～

会場：名古屋音楽学校・ホール

シンポジウム《地域が創る音楽芸術の潮流～文化の発信を支える柔軟な思考と多様なコミュニケーションを考える～》

【基調講演】《あいちトリエンナーレ 2019 について》

[講師]

田中 泰之 愛知県民文化局文化部トリエンナーレ推進室 室長補佐（調整グループ）

東出 太郎 愛知県民文化局文化部トリエンナーレ推進室 室長補佐（事業第二グループ）

※基調講演は「表現の不自由展・その後」の展示中止発表の影響で中止となった。

【パネルディスカッション】

[登壇者]

◆アッセンブリッジ・ナゴヤ（名古屋市）

岩田 彩子 アッセンブリッジ・ナゴヤ 音楽ディレクター（2017・2018・2019）

三矢 知徳 名古屋市役所観光文化交流局文化振興室 企画事業係

◆知多半島春の国際音楽祭（武豊町他）

小藤 省吾 知多半島春の国際音楽祭 2019 運営委員会 委員長

高木 正博 知多半島春の国際音楽祭 2019 運営委員会 副委員長

◆おんぱく（長久手市）

生田 創 長久手市文化の家 事務局長補佐兼事業係長

田邊 武士 「おんぱく」ディレクター（2016・2018）・Teatro Musicale 代表・ファゴット奏者・イラストレーター

[コメンテーター]

宮崎 刀史紀（公財）京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都 管理課長

[コーディネーター・モデレーター]

梶田 美香 名古屋芸術大学 教授

② 第12回冬の研究大会

日時：令和元年12月15日（日）10:00～

会場：東京音楽大学池袋キャンパスA館

シンポジウム《変わる音楽教育の現場から～学校における芸術教育を考える～》

【基調講演】 根来 恭子 文化庁文化戦略官

【パネルディスカッション】

[パネリスト]

佐藤 太一 埼玉大学教育学部附属中学校 副校長

根来 恭子 文化庁文化戦略官

長谷川 亜樹 (公財) サントリー芸術財団サントリーホール企画制作部 副部長

早川 修一 東京都練馬区立向山小学校 校長／全日本音楽教育研究会小学校部会長

堀田 栄作 (公社) 関西二期会 事務局長／JaSMAM 幹事

[モデレーター]

蕪澤 弘志 昭和音楽大学 客員教授／JaSMAM 理事

《歌曲研究所》

昭和音楽大学歌曲研究所は、歌曲資料の収集及び演奏法の研究を目的とする。

【研究員】

所 長

木村 淳子 昭和音楽大学短期大学部教授

研究員（五十音順）

五十嵐 麻利江 昭和音楽大学教授

井ノ上 了吏 昭和音楽大学教授

折江 忠道 昭和音楽大学教授

酒巻 和子 昭和音楽大学教授、研究科長

柴山 昌宣 昭和音楽大学准教授

鈴木 とも恵 昭和音楽大学准教授

直野 資 昭和音楽大学客員教授

中村 佳子 昭和音楽大学短期大学部教授

藤原 海考 昭和音楽大学短期大学部准教授

的場 辰朗 昭和音楽大学教授、音楽学部長

山崎 裕視 昭和音楽大学非常勤講師

● 2019年度活動内容

1) スペイン歌曲研究会

「スペイン歌曲の魅力を伝えるために 第2弾」

日 時：令和元年 6 月 14 日（金）18:00-19:30

場 所：ユリホール

講 師：マリア・バーヨ（ソプラノ）

ピアノ：フリオ・アレクシス・ムニョス（マドリード国立高等声楽学院学長）

出 演：大学院音楽研究科修士課程／2 年 1 名、1 年 3 名

通 訳：濱口 典子（講師）

曲 目：ロドリーゴ：「4 つの愛のマドリガル」より“何を使って洗いましょう”

オブラドルス：「二つの民謡」より“お前の一番細い髪の毛で”

オブラドルス：「スペイン古典歌曲集」より“「心よ、なぜに眠れぬ夜を”

グラナドス：「嘆きのマハ I II III」

内 容：スペインの至宝、マリア・バーヨ氏を迎えての研究会。

バーヨ氏によるスペイン歌曲の講話と公開レッスンを行った。

2) 高校生のための歌曲コンクール

平成 1 2 年度から実行委員会形式で開催してきた本コンクールを、平成 1 5 年度より昭和音楽大学の主催とし音楽教育研究所の研究課題として実施してきた。平成 2 2 年度より歌曲研究所に移管し、継続して研究している。

1. 過去の参加者数

平成 12 年度（第 1 回） 198 名、平成 13 年度（第 2 回） 249 名

平成 14 年度（第 3 回） 259 名、平成 15 年度（第 4 回） 258 名

平成 16 年度（第 5 回） 248 名、平成 17 年度（第 6 回） 258 名

平成 18 年度（第 7 回） 240 名、平成 19 年度（第 8 回） 199 名

平成 20 年度（第 9 回） 172 名、平成 21 年度（第 10 回） 179 名

平成 22 年度（第 11 回） 151 名、平成 23 年度（第 12 回） 203 名

平成 24 年度（第 13 回） 231 名、平成 25 年度（第 14 回） 224 名

平成 26 年度（第 15 回） 193 名、平成 27 年度（第 16 回） 174 名

平成 28 年度（第 17 回） 189 名、平成 29 年度（第 18 回） 204 名

平成 30 年度（第 19 回） 205 名、令和元年度（第 20 回） 216 名

2. 令和元年度（第 20 回）実施概要

予 選（全国ブロック予選会／公開審査）

・日程：令和元年 5 月

・会 場：全国 8 会場

・参加者：216 名（女声 172 名、男声 44 名）

本 選（公開審査）

・日 時：令和元年 6 月 8 日（土）

・会 場：テアトロ・ジューリオ・ショウワ

・参加者：42 名（女声 28 名、男声 14 名）

表 彰 ・優秀賞：6 名

・奨励賞：16 名

《アートマネジメント研究所》

アートマネジメント研究所は、アートマネジメントに関する領域の研究および関連分野の研究を目的としており、「アートマネジメント研究部会」、「コミュニケーションセンター」の2つの部門で活動している。

【研究員】

所長

古橋 祐 昭和音楽大学教授

研究員 (五十音順)

家安 勝利 昭和音楽大学事務局長付部長/非常勤講師

石田 麻子 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

酒井 健太郎 昭和音楽大学准教授

武濤 京子 昭和音楽大学教授

仁科 岡彦 昭和音楽大学教授

蕪澤 弘志 昭和音楽大学客員教授

森川 卓夫 昭和音楽大学非常勤講師

吉原 潤 昭和音楽大学専任講師

● 2019 年度活動内容

【アートマネジメント研究部会】

アートマネジメント研究部会は、研究員それぞれが自身の研究活動や共同研究をベースに、時事的なテーマに基づいた研究発表・研究会を行っている。令和元年度は、以下の研究活動および「音楽芸術運営研究 No.13」の発行に加えて、「アートマネジメント研究会」を行った。

1. 研究会の実施

6月19日(水) 「AAAE 年次総会の報告とカリキュラムスタンダードについて」

7月17日(水) 「日本の文化芸術政策と新国立劇場 (FACP 発表資料)」

9月17日(火) 活動報告

1. 「アジアから世界へ

～オペラ公演制作におけるグローバルセッション～」

2. 「アートマネジメント教育フォーラム」

11月5日(火) 「公益財団法人日本オペラ振興会の

過去の上演オペラ公演を数値検証する。」

12月10日(火) 「近代日本の西洋音楽受容の仲介者：

「呼び屋」、音楽事務所に注目して」

2月18日(火) 「今、音楽界に何が起きているか？」

2. 「音楽芸術運営研究 No.13」の発行

研究員の研究活動報告や論文をまとめた「音楽芸術運営研究 No.13」を発行し、関係大学、文化庁、その他の関係機関に配布した。

3. 「アートマネジメント研究会」

平成2年に設立した社団法人企業メセナ協議会（当時）は令和2年で30年を迎える。企業メセナ協議会の歴史や事業概要、日本の企業メセナ活動の推移と現状を踏まえ、企業による芸術文化支援活動の変遷について紐解く。研究所および関係者に加えて、在学生、現場で仕事をしている卒業生らも参加し、充実した学修および意見交換の場となった。

「企業メセナ活動の歴史と最新動向」

日 時： 令和2年2月18日（火）18:00～19:30

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 A211 教室

講 師： 澤田 澄子 氏 （公社）企業メセナ協議会 常務理事・事務局長

【コミュニケーションセンター】

昭和音楽大学コミュニケーションセンター（SCC）は、「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムの運営とそれに伴う研究活動を行っている。

「アーツ・イン・コミュニティ」プログラムは、川崎市麻生区を中心に、学生によるアウトリーチ活動等の音楽芸術交流活動を通して、地域貢献と学生自身の成長を実現し、社会性を持った音楽人の育成を行う取組みである。平成18年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）に選定され、平成20年度より正規授業としてカリキュラム化され（科目名「音楽活動研究①、②、③、④」）、平成23年度よりキャリア関連科目としても位置付けられた。

SCCでは、「音楽活動研究」の授業の全般的な運営、派遣依頼受入れの可否の検討と依頼元への連絡・交渉、学生の演奏・指導派遣のコーディネート、広報活動等を行った。

1. 「音楽活動研究」の授業運営

- ・音楽活動研究分科会と連動した「音楽活動研究①、②、③、④」の授業の全般的運営
- ・音楽活動セミナーの企画 計16回（音楽活動研究①：7回、音楽活動研究②：9回）
- ・「音楽の贈り物」公演制作・実施（下記⑤に記載）

2. 演奏指導活動派遣

麻生区内小学校2校、麻生区内中学校1校、福祉施設3施設

川崎市教育委員会事業1事業（下記3に記載）

川崎市市民文化局 人権・男女共同参画室1事業（下記4に記載）

麻生区役所保健福祉センター事業1事業（下記5に記載）

（合計8件）

活動数：演奏活動7回、教育指導活動2回

3. 川崎市教育委員会事業：1事業

- ・「2019年度ジュニア音楽リーダー育成事業」

日 時： 令和元年 8 月 18 日（日）、8 月 25 日（日）

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 教室 等

4. 川崎市市民文化局 人権・男女共同参画室 1 事業

・「拉致被害者家族を支援する かわさき市民のつどい」

日 時： 令和元年 10 月 5 日（土）

場 所： 川崎市平和館 平和の広場

5. 麻生区役所保健福祉センターとの連携事業：1 事業

・「音楽の贈り物～サンタといっしょに音楽であそぼう！～」

日 時： 令和元年 12 月 1 日（日）14:00～16:00

場 所： 昭和音楽大学 南校舎 1 階 C101 スタジオブリオ、他

6. 広報活動：専用ホームページ、ブログの運用 他

《音楽療法研究所》

音楽療法研究所は、「音楽療法研究の発展に向けて～高齢者領域の音楽療法～」を令和元年度の年間テーマとして研究活動をおこなった。活動の柱は、平成 30 年度大学発政策提案制度にて採択され、本年度より始動した「健康寿命延伸に向けた高齢者施設における音楽活用事業かながわモデル」であった。本事業は神奈川県との協働事業であり、契約書の締結、高齢者施設等職員を対象とした研修会と教材開発、県内施設への訪問サポート、web 動画の作成等をおこなった。

また、研究所紀要として平成 23 年度から発行してきた「音楽療法研究」は、令和元年度にて第 9 号となった。その他、7 月には松井紀和客員教授をお招きしグループダイナミクスをテーマに日本音楽療法学会認定講習会として公開研究会をおこない、3 月には後編を開催した。「音楽療法ディベロップメント事業」では、人材開発、教材開発を柱として活動した。

【研究員】

所長

羽石 英里 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

青木 久美 昭和音楽大学非常勤講師

伊藤 啓子 昭和音楽大学客員教授

今村 ゆかり 日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師

大山 祥子 昭和音楽大学非常勤講師

北島 洋美 日本体育大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

杵鞭 広美 桐朋学園大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師

白川 ゆう子 昭和音楽大学専任講師

田坂 裕子 昭和音楽大学非常勤講師

田原 ゆみ	昭和音楽大学非常勤講師
萩原 かおり	昭和音楽大学教授
深野 広美	昭和音楽大学非常勤講師
二俣 泉	昭和音楽大学准教授／日本音楽療法学会副理事長
三浦 優佳	昭和音楽大学非常勤講師
村林 信行	日本音楽療法学会常任理事／昭和音楽大学非常勤講師
横山 順一	日本体育大学准教授／昭和音楽大学非常勤講師
アドヴァイザー	
松井 紀和	昭和音楽大学客員教授／日本臨床心理研究所所長／ 精神科医師
岸本 宏子	昭和音楽大学名誉教授

● 2019 年度活動内容

令和元年度は、以下の(1)～(4)にわたる事業をおこなった。

(1) 研究所主催研究会の開催

音楽療法の専門家を招聘し、外部音楽療法専門家および音楽療法を学んでいる学生たちにも広く門戸を開いた公開講座を実施した。学外者に対しては有料（同侪会音楽療法部会会員 500 円、他大学生・外部専門家 1,000 円）にて実施した。

1. 令和元年度 第 1 回公開研究会（学会認定講習会として開催）

テーマ：「高齢者領域の音楽療法の可能性 –グループダイナミクス–（前編）」

講師：松井 紀和氏

（本学客員教授、日本臨床心理研究所所長、精神科医師、認定音楽療法士）

日程：7 月 21 日（日） 会場：B311 教室

2. 令和元年度 第 2 回公開研究会（開催中止）

以下開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により開催中止とした。

テーマ：「高齢者領域の音楽療法の可能性 –グループダイナミクス–（後編）」

講師：松井 紀和氏

（本学客員教授、日本臨床心理研究所所長、精神科医師、認定音楽療法士）

日程：令和 2 年 3 月 1 日（日） 会場：B311 教室

(2) 音楽療法研究所紀要『音楽療法研究』の発行

令和元年度で発行 9 年目を迎えた。研究員らによる研究成果や活動報告を記載した。

(3) 「音楽療法ディベロップメント」事業の開催

1. 人材開発 キャリア支援講座

音楽療法コース 4 年生と大学院修士課程 2 年生のうち日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格試験および日本音楽療法学会認定音楽療法士資格試験（実技・面接）を受験する学生をメインの対象とした対策講座をおこなった。

2. 教材開発研究

音楽療法実習の中で使用しているオリジナル楽曲（歴代のもの）曲集としてまとめて形に残すことを目的とし、昨年度に引き続き作業をおこなった。本年度は学生が残した手書きの楽譜を収集し、順次データ化（楽譜作成）をおこなった。

3. 音楽療法アーカイブ

平成 12 年に本学に音楽療法コースが設置された当時から現在までの活動を整理するとともに、音楽芸術運営研究所（当時）のうちの音楽療法に係る研究と活動、音楽療法研究所設置から現在までの活動の資料収集および整理をおこなっている。

(4) 健康寿命延伸に向けた高齢者施設における音楽活用事業かながわモデル

本研究所では、平成 30 年度に神奈川県が募集した「大学発・政策提案制度」に応募し、企画・提案した「健康寿命延伸に向けた高齢者施設での音楽活用事業かながわモデル」が採択された。令和元年度および令和 2 年度の 2 ヶ年事業として、神奈川県との協働により「高齢者福祉施設等音楽療法活用事業」を実施している。本年度は以下 1~8 の活動をおこなった。また、本協働事業のための研究所専用ホームページを開設した。

1. ワーキンググループ（以下、WG）設置

事業を円滑におこなうため、研究所内に WG を設置した。

<WG 構成員>

羽石 英里（本学教授、本研究所所長）／三浦 優佳（本学非常勤講師）／深野 広美（本学非常勤講師）／伊藤 啓子（本学客員教授）／赤坂 由美子（本研究所アルバイト）

その他、音楽療法コース専任教員については授業優先のため WG 出席は必ずしも求めないものとして構成員とした。

2. 協働事業契約の締結および県事業化

平成 31 年 4 月 1 日、神奈川県知事と本学理事長の名により協働事業契約書を交わした。神奈川県により事業化された事業名は「高齢者施設等音楽療法活用事業」である。協働事業従事者として、神奈川県は高齢福祉課長、本学は音楽療法研究所所長を代表とした。本事業の目的は、高齢者施設等にて心身機能の維持・改善等を目指す効果的な音楽活動を施設職員と共に広く提供するために、音楽療法の専門性を生かした「音楽活動サポートかながわモデル」を策定し、実践することにより県民の健康寿命の延伸を目指すことである。

3. 高齢者施設間でのニーズの共通性や個別性の精査

平成 30 年度に、神奈川県との協働事業への応募と実施を見越しておこなった「高齢者施設における『音楽活動』『音楽療法』の実施とニーズに関するプレ調査」の結果（以下、プレ調査）をもとに、施設間でのニーズの共通性や個別性を精査した。また、プレ調査

に協力した施設等を訪問し、実際の音楽活動場面の見学および実施者への聴き取り調査をおこなった。この結果、音楽レク（カラオケ等）のマンネリ化とその解消へのニーズや、口腔・嚥下機能に働きかける活動における音や音楽の活かし方、施設内での音楽を用いた体操のマンネリ化とその解消への課題、そして生活の質や心身機能の維持向上のために楽しく音楽を活かすことへのニーズが明らかになった。

4. かながわモデルの実施マニュアル検討・策定

上記の結果を踏まえて、音楽療法士および他職種（社会福祉士、生活相談員、作業療法士ら）が連携・協力しモデルの妥当性を検討し、かながわモデルの実施マニュアル（試行版）を策定した。なお、本マニュアルは、後に報告する施設職員等向け研修（12月21日実施）において、【マニュアル資料編】、【演習編】として教材として配付・使用した。

5. 施設職員等向けの研修の実施

施設等間での共通のニーズに対して効率的な解消を図るために、施設職員を対象とした講義、グループ別（施設種別）演習、協議を組み合わせた研修を実施した。企画提案時および年度当初の事業計画では、年間2回実施（各回定員50名、年間合計100名）する予定であったが台風接近により秋クラスは中止（実施困難）となり、冬クラス1回のみの実施となった。

5-1. 研修の概要

テーマ：「いますぐ活かせる、だれでもできる『音楽レク』のワザ」

日時：秋クラス 令和元年10月12日（土） 13:00～16:30

冬クラス 令和元年12月21日（土） 13:00～16:30

対象：神奈川県内高齢者施設等においてレクや音楽を用いた体操などを担当する者

会場：本学南校舎

申込者：合計133名（秋クラス33名、冬クラス100名。キャンセル申し出者を除く）

参加者：冬クラス 89名

5-2. 研修内容および講師

研修は、平成30年のプレ調査、および施設間でのニーズの共通性や個別性の精査により明らかになった課題をもとに「食前体操に活かす音楽」、「からだを動かす」、「音楽療法士が紹介するカラオケ機器の使用」の3テーマの演習を設定した。参加者を施設種別に3つのグループに分け、3テーマ全ての演習を体験できるようにした。講師は、各テーマに関わる学内外の専門家または実務経験がある外部講師が次のとおり担当した（本稿では資格および所属は現職のみ記載）。

○食前体操に活かす音楽

羽石 英里（日本音楽療法学会認定音楽療法士、アメリカ音楽療法学会公認音楽療法士。本学教授）／赤坂 由美子（日本音楽療法学会認定音楽療法士。湖山医療福祉グループ

株式会社日本ライフデザイン関係施設非常勤音楽療法士)

○からだを動かす

井上 美緒(日本音楽療法学会認定音楽療法士、作業療法士。福祉用具専門相談員取得。医療法人社団大関会 大関会クリニック江戸川橋作業療法士。同僚会員) / 深野 広美(日本音楽療法学会認定音楽療法士。医療法人社団慈広会 介護老人保健施設メイプル非常勤音楽療法士、本学非常勤講師、湘南平塚看護専門学校非常勤講師、東京家政学院大学人間福祉学科非常勤講師) / 本谷 理絵(日本音楽療法学会認定音楽療法士。本学実習研究員)

○音楽療法士が紹介するカラオケ機器の使用

伊藤 啓子(日本音楽療法学会認定音楽療法士、アメリカ音楽療法学会公認音楽療法士。本学客員教授) / 榎本 仁美(社会福祉士、精神保健福祉士。社会福祉法人法師会デイサービスセンター椿寿の里、生活相談員、本学大学院修士課程 2 年生) / 大山 祥子(日本音楽療法学会認定音楽療法士。本学非常勤講師。フリーランスの音楽療法士として神奈川県を中心に教育・福祉施設等において音楽療法を実践)

○講義、統括担当 講師

二俣 泉(日本音楽療法学会認定音楽療法士。日本大学医学部兼任講師、本学准教授) / 鈴木 裕也(日本音楽学会認定音楽療法士。藤代音楽療法臨床研究所「ぼこぼこ」非常勤音楽療法士、昭和音楽大学実習研究員) / 三浦 優佳(日本音楽療法学会認定音楽療法士。本学非常勤講師、YMCA 健康福祉専門学校非常勤講師)

6. 音楽療法士の施設訪問

各高齢者施設のニーズに合わせた音楽レクの創造にむけ、音楽療法士(WG メンバー)が神奈川県内の希望施設(令和元年度は5施設)を訪問した。各施設の個別的なニーズに対応しサポートするものであり、各施設原則3回の訪問とした。状況に応じて音楽療法実践、音楽活動の相談会、施設職員へのレクチャー、楽器の貸与等を組み合わせた。期間は令和2年2月14日~3月28日であった。

7. 音楽活動の web 動画配信

施設職員等向け研修や策定したマニュアルをもとに動画を作成し配信することで、広く、施設で継続可能な音楽活動をサポートすることを目的とした。口腔機能や身体機能にアプローチする動画を作成し、公開について神奈川県と調整している。また、次年度に向けて、本年度の研修の申込書や後掲するシンポジウムおよび「お悩み相談会」の申込書から明らかになったニーズや困難さを解決するためのヒントとなり得る動画の完成を目指し作業を進めた。

8. 「音楽活動サポートかながわモデル」の評価と報告

本年度の試行の結果を踏まえ、モデルが効果的に運用できているか等を検討した。また、施設職員等向け研修に参加した職員を対象とした相談会を設け、フォローアップをおこなった。また、他の専門職種の協力を得て、健康寿命延伸と施設での音楽の活用の観点

からシンポジウムを開催し、成果を報告する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、シンポジウム開催を中止した。

【以下中止としたシンポジウムの子定内容の概要】

テーマ：「高齢者施設等での音楽の活用」

日 時：令和2年2月22日（土） 13：00～16：30

（第1部「お悩み相談会」、第2部「公開シンポジウム 高齢者施設等での音楽の活用」）

対 象：第1部 神奈川県内高齢者施設等職員に限る（原則 研修冬クラス参加者）

第2部 一般公開

《音楽教育研究所》

【研究員】

所長

江口 文子 昭和音楽大学教授

研究員（五十音順）

飯田 佐恵 昭和音楽大学准教授

石川 亮子 昭和音楽大学准教授

石田 麻子 昭和音楽大学教授

奥村 晃博 昭和音楽大学教授

川染 雅嗣 昭和音楽大学教授

岸田 生郎 昭和音楽大学教授

木村 淳子 昭和音楽大学短期大学部教授

鈴木 二美枝 昭和音楽大学短期大学部教授

角南 篤 昭和音楽大学音楽教育研究所特別研究員

豊住 竜志 昭和音楽大学准教授

林 眞砂子 昭和音楽大学非常勤講師

林田 枝実 昭和音楽大学准教授

益田 トッシュ 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学専任講師

森 篤史 昭和音楽大学短期大学部専任講師

○「推薦音楽会」

附属音楽・バレエ教室の4歳～高校3年生までのピアノ・声楽・弦・管・打楽器等を専攻している生徒のうち、オーディションにて選出された生徒を出演対象として「推薦音楽会」を開催している。実力のある優秀な生徒の幼少期から中高生までの演奏力・技術力等の成長について研究課題としている。

平成 25 年度以降の出演者数は以下の通り。() はオーディション参加者数

平成 25 年度	28 名 (87 名)
平成 26 年度	30 名 (64 名)
平成 27 年度	36 名 (58 名)
平成 28 年度	36 名 (49 名)
平成 29 年度	37 名 (49 名)
平成 30 年度	32 名 (49 名)
平成 31 年度	33 名 (50 名)

○「特別レッスン」

附属音楽・バレエ教室の生徒のうち、前年度の推薦音楽会出演者及び前年度の特別レッスン受講者を対象に大学教員が定期的にレッスンを実施している。音楽・バレエ教室の進学コースに在籍している高校 2 年生以上で本学への進学を希望している者のうち、主科実技担当講師が本学の兼務教員でない生徒については、本人の希望により、無条件で特別レッスンを受講できるようにしている。

主な研究内容は、レッスン内容・指導法、受講している生徒の音楽的・テクニクの上達度となっており、その研究成果を踏まえ、どのように学生に還元していくのかを検討している。

平成 25 年度以降の受講者数は以下の通り。

平成 25 年度	26 名 (ピアノ 17 名、ヴァイオリン 7 名、フルート 1 名、クラリネット 1 名)
平成 26 年度	26 名 (ピアノ 20 名、ヴァイオリン 4 名、ホルン 1 名、電子オルガン 1 名)
平成 27 年度	21 名 (ピアノ 12 名、ヴァイオリン 6 名、フルート 1 名、ホルン 2 名)
平成 28 年度	21 名 (ピアノ 9 名、ヴァイオリン 4 名、フルート 2 名、ホルン 1 名、サクソフォン 1 名、声楽 4 名)
平成 29 年度	25 名 (ピアノ 13 名、ヴァイオリン 6 名、フルート 2 名、ホルン 1 名、サクソフォン 1 名、声楽 2 名)
平成 30 年度	19 名 (ピアノ 12 名、ヴァイオリン 3 名、フルート 3 名、声楽 1 名)
平成 31 年度	18 名 (ピアノ 12 名、ヴァイオリン 1 名、フルート 2 名、ホルン 1 名、サクソフォン 2 名)

○「プラスワン講座」

附属音楽・バレエ教室で開催するピアノのグレード制度「ステップアップ」の審査に付してミニ講座・ミニコンサートを実施している。さまざまなテーマを用いて音楽を幅広い年齢層のピアノ学習者に多角的に伝えることを研究課題としている。

● 2019 年度の実施内容

5 月 1 2 日 (日) 新百合ヶ丘校 「映像を感じる音楽
～印象派の作品 Debussy,Ravel～」

- 6月15日(土) 戸塚校 「オペラの楽譜」
 7月 6日(土) センター北校 「ピアノで遊ぼう～即興のきほん」
 8月10日(土) 藤沢校 「ステップアップの名曲たち」
 9月 7日(土) 武蔵小杉校 「美しいイミテーション(ニセモノ)の世界」
 10月12日(土) 小田原校 ※台風のため中止
 11月24日(日) 新百合ヶ丘校 「ナニで出来ている楽器?
 打楽器は音楽の調味料!？」
 12月14日(土) 本厚木校 「愉快で楽しいソナチネ～練習をはじめる前に」
 1月18日(土) 南大沢校 「クラリネットは、なんで、
 クラリネットっていうの？」

《ピリオド音楽研究所》

ピリオド音楽研究所は、ピリオド音楽およびピリオド演奏の研究を目的とする。

【研究員】

所 長

有田 正広 昭和音楽大学客員教授

研究員(五十音順)

有田 栄 昭和音楽大学教授

江崎 浩司 昭和音楽大学非常勤講師

黒田 隆 昭和音楽大学客員教授

藤田 真頼 昭和音楽大学准教授

増村 修次 昭和音楽大学非常勤講師

満江 菜穂子 昭和音楽大学専任講師

築瀬 進 昭和音楽大学教授、大学・短期大学部学長

● 2019年度実績

- 2019年6月5日(水) 第25回公開講座

レクチャーコンサート 『踊りの音楽～バロック時代の組曲～』

内容/Allemande、Courante、Sarabande、Gigue等で構成される「組曲」。フランス、イタリア、ドイツ出身の作曲家による踊りの音楽を歴史と共に振り返る。有田教授の指導の下で、大学院修士課程1年次に「ピリオド音楽研究」を履修した2年次生が企画立案し、研究成果を発表した。

司会：有田正広

出演：平成31年度大学院修士過程音楽芸術表現専攻生2年次生

ピアノ/大木雅子、菊池真里亜、佐藤光緒梨、千葉奈実、中村優似、脇坂今日子
 オーボエ/古田島瑛美 チェロ/山本令子

マリンバ/中野志保(修了生) チェンバロ/上路実早生(賛助/研究員)

(演奏曲目) ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第6番 RV46 (チェロ／チェンバロ)
クープラン：《趣味の融合または新しいコンセール集》より 第7番 ト短調
(オーボエ／ピアノ)
クープラン：クラヴサン曲集 第2巻 第6組曲 (ピアノ)
バッハ：無伴奏チェロ組曲 第5番 BWV1011 (マリンバ)
バッハ＝ライネッケ：パルティータ第2番より「シャコンヌ」ニ短調
BWV1004:5 (ピアノ連弾)
会場：C101 スタジオブリオ
入場者：103名

- ・ 2019年7月17日(水) 第26回公開講座「音楽歴史の旅」
「近代フルートの父ポール・タファネルと木管室内楽協会
～タファネルを取り巻く後期ロマン派の作曲家と作品～」
内容／19世紀末パリ。P.タファネルは木管室内楽協会を設立し、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン等のオリジナル作品を発掘して世に発表する。一方、同時代の作曲家達に新たな曲を依頼し木管楽器のレパートリーを広げた。今回はその後再演される機会の少ない埋もれた作品と作曲家を取り上げ、室内楽協会の活動とタファネルの功績に光をあてる。
講師：藤田 真頼 (准教授)、有田正広 (客員教授／所長)
演奏：藤田 真頼 (フルート)、辻英恵 (ピアノ／非常勤講師)
(演奏曲目) P・タファネル：初見の試験の為の作品 Allegretto Grazioso 1877」
P・タファネル：初見の試験の為の作品 Allegro 1885
P・タファネル：初見の試験の為の作品 Andante 1884
P・タファネル：オペラ「エフゲニー・オネーギン」よりアリオソ
会場：C511 階段教室
入場者：92名

《附属音楽・バレエ教室》

幼児(2歳)から中高年層まで幅広い年齢層を対象として音楽・バレエ教室を開設している。

教室は新百合ヶ丘校(大学内)、小田原校、センター北校、南大沢校、本厚木校、藤沢校、戸塚校、仙台校、武蔵小杉校の9校で展開。約3,500名が在籍している。音楽の各分野では幼児音楽教育、ソルフェージュ、選科(ピアノ、弦・管・打楽器、声楽、作曲)、大人の音楽レッスン(選科と同科目)、忙しい方のための音楽レッスン(選科と同科目)、ポピュラー音楽、ジャズピアノ、グループヴォーカル、ウェイクアップヴォーカル、ヴォーカルトレーニング、ジャズヴォーカル、カンツォーネ、シャンソン、爽快ベルカント、青春のポップスコラス、童謡を歌おう、日本語で歌おう、楽しくオペラ

を歌おう、歌声サロン、発声から始める歌謡曲、文化箏、二胡、ウクレレ等のコース、並びに舞台芸術の分野ではバレエ、ミュージカル、ミュージカルヴォーカル、ジャズダンス、キッズダンス、ダンシング・フラ、大人のストレッチ、朗読サロンコース等、また、教養講座としてイタリア語コースがある他、令和1年には、電子オルガンでアンサンブル、大人の連弾、ギターアンサンブル、のんびりジャズピアノを開設するなど、生涯教育の普及活動を通じて地域に貢献している。

《附属ピアノアートアカデミー》

附属ピアノアートアカデミーは、音楽家を志す人の技術や表現力の向上のみならず、各々の個性がさらに輝き、ステージに生かされるための人間性を養うことにも重点を置き、真に魅力あふれる音楽家の育成を目的として開設された。現在小学生から本学の卒業生まで、幅広い年齢層の人たちが各地から通っており、在籍生は同じ目標を持つ人同士、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深め、お互いに刺激しあいながら日々学んでいる。

その成果として、これまでに多くの在籍者が数々の国内外のコンクール優勝、入賞を果たしている。2011年のリスト生誕200年に行われたリスト国際ピアノコンクールで優勝した後藤正孝、2013年パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位の加藤大樹、2018年高松国際ピアノコンクールを日本人として初めて優勝した古海行子、浜松国際ピアノコンクールで日本人歴代最高位の第2位を受賞した牛田智大を輩出し国内外からの注目を集めた。このような活動に対して川崎市アゼリア輝賞、川崎市音楽特別賞、千葉県芸術文化新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞、海老名文化大賞、岩谷時子 Foundation for Youth、出光音楽賞等を受賞。

江口文子主任教授が中心となって指導を行うこととその実績により、現在では本邦を代表する教育機関として国際的に知られるようになった。昭和音楽大学・同短期大学部への入学者の確保にも大きな役割を果たしている。

○附属ピアノアートアカデミーの活動

- ・ピアノアートアカデミーコンサート：日本を代表する音楽家をゲストに迎え、デュオ、室内楽などを取り入れたコンサートを開いており、演奏会全体の流れを考えた選曲で総合的な場での表現を経験する。
- ・プレビューアカデミー：毎年12月に小学校2年生～高校2年生を対象に開催。ピアノの個人レッスンに加え、参加者全員で学ぶワークショップ、そして成果発表の場として学内のユリホールでのコンサートを実施。毎年全国各地から受講者、聴講者が来場する。
- ・ピアノ総合コース：月1回の特別レッスンを実施するコース。小学2年生～高校3年生を対象にピアノ個人レッスン、ソルフェージュレッスン、感性と教養を養うためのクラスのほか、成果発表会なども開催。

- ・ミライの音楽ワークショップ：コンピュータを用いたデジタル音楽の創作・表現を中心とする、現代的な音楽の才能を秘めた若者を発掘し、今後の音楽業界を牽引していくような人材を育成することを理念として新たに始動したプロジェクト。
- ・特別クラス：レッスン、アンサンブル、ソルフェージュ、キャリア形成の支援。
- ・これまで在籍生が出演したホール及び協演したオーケストラ：ユリホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホール、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、白寿ホール等でのコンサート、NHK 交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京シティー・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティー管弦楽団、テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ等
- ・これまでの在籍生の主なテレビ出演：テレビ朝日「関ジャニ∞の The モーツァルト音楽王 No.1 決定戦」にて黒木雪音が優勝（2連覇）、テレビ朝日「題名のない音楽会」では田久保萌夏、牛田智大、古海行子、NHK-BS プレミアム「蜜蜂と遠雷～若きピアニストたちの18日～」では牛田智大が出演している。
- ・近年のCD 発売：CD リリースでは、細川千尋が「Thanks!」と「I'm home」、黒木雪音がナクソス・ジャパンの「パデレフスキ：ピアノ名曲集」を、2019年には古海行子が日本コロムビアの Opus One レーベルより CD デビューをした。

学校法人東成学園 中長期計画 2020-2024

はじめに

学校法人東成学園は本学園の将来像・在りたい姿を示したビジョンを次のとおり定めます。

◆ 学校法人東成学園 ビジョン

2020年、創立80年を迎えた本学は、

「礼・節・技の人間教育」を柱とした教育を展開するとともに、音楽・舞台芸術分野の幅広い人材育成の歴史と伝統を生かして、音楽・芸術文化の未来をリードする大学となる。

ビジョンを実現するための基本戦略として、5つのプロジェクトのもと、次の重点施策を進めてまいります。

◆基本戦略

【プロジェクト① 教育の質の向上】

A・教育課程の改革

予測不可能な時代の到来を見据え、専攻分野についての専門性を有するだけでなく、幅広い教養を身に付けるためにカリキュラムを常に見直し、社会を支えていく人材を積極的に育成していきます。併せて、アカデミックカレンダーを検討し、多様な学生の学修ニーズに対応していきます。

B・教育手法の改善

学生の学修成果を向上させるため、教育手法の改善を進めていきます。IoT (Internet of Things)で人とモノがつながり新たな価値が生まれる時代に対応したICT教育やオンライン教育、人と人がつながることで実現するアクティブラーニングを積極的に推進していきます。

C・学修支援の強化

多様な学生のニーズに対応するために、学修支援策を講じていきます。学生の授業をはじめ学生生活全般を総合的に支援するセンターの設置、練習室の利用の効率化等、学生の学修成果が向上するための環境の充実に取り組んでいきます。

D・キャリア教育の充実

社会で活躍する人材を育成するために、キャリア教育のさらなる充実を図ります。キャリアマネジメント力及びセルフディベロップメント力を強化するプログラムの開発や、海外留学の支援等、学生一人ひとりが希望する進路の実現を目指します。

【プロジェクト② 成長戦略の推進】

A・学生募集の強化

音楽大学への進学を考えている方への支援を推進していきます。学園内外でのイベントを量的、質的に充実させ、分かりやすく、参加しやすい方策を講じていきます。また、多様な学生のニーズに合わせた入学者選抜を、さらに充実させていきます。

B・社会連携、大学間連携の推進

連携事業は、学園の使命として必要な取り組みです。本学園では特に、学生の学修成果の向上や、活躍の場が広がる社会的な連携について、積極的に推進していきます。

C・新たなコース・プログラムの開発

多様な学生を受け入れるために、教育資源を活用して、新たなコースの設置やプログラムの開発を推進していきます。これは、大学、短大、大学院に設置するコースやプログラムに関わらず、附属音楽・バレエ教室等、学園全体で進めていきます。

D・「本学園ならではの価値」の明確化

創立 80 周年を迎え、これからも音楽・芸術文化の未来をリードする大学であり続けるため、本学園ならではの価値を創造し、社会に向けて発信を続けていきます。

【プロジェクト③ 教職員すべてが能力を発揮できる環境の醸成】

A・人事制度改革

人事評価基準や評価方法の見直しを含む人事評価制度の改革により、組織の活性化を図ります。

B・業務の効率化

業務フローの見直しと DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、業務の効率化と意思決定の迅速化を進め、運営の強化を図ります。

C・「研究」「研修」時間と機会の拡充

人事制度改革や業務の効率化に取り組むことにより、教職員がさらに余裕をもって就業ができる体制を整備し、「研究」「研修」の時間と機会の拡充を図ります。

【プロジェクト④ 安定的な財務基盤の確保、IR（インスティテューショナル・リサーチ）の活用】

A・PDCA サイクルに基づいた「選択と集中」による事業の見直し

学園内の各事業に対して効果検証を継続的に行い、経営資源の配分の適正化を図り、安定的な財務基盤を確保するとともに、教育研究活動のさらなる拡充を進めます。

B・IR 機能の強化

学園内外の情報を収集・分析する IR 機能を強化することで、教育手法を改善し続けるとともに、社会の変化に対応した教育を提供します。また経営基盤の強化を図り、社会への説明責任を果たします。

【プロジェクト⑤ 組織の活性化】

A・ガバナンスの強化

本学園は、時代の変化に対応した高い公共性と信頼性を確保していくため「ガバナンス・コード」を策定し、常に見直しを行うことによって、社会的責任を十二分に果たしていきます。

B・UD、BD、FD、SD の推進

ユニバーシティ・ディベロップメント（UD）として、全構成員による建学の精神・理念に基づく教育・研究活動等を通じて、私立大学の社会的価値の創造と最大化に向けた取り組みを推進します。

ボード・ディベロップメント（BD）として、常任理事は、寄附行為等関連規定並びに事業計画等に基づく責任担当事業領域・職務に係る PDCA を毎年度明示します。監事は毎年度策定する監査計画と監査報告書を理事会並びに評議員会に報告します。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）として、3つのポリシー（方針）（※）の実質化と教育の質保証の取り組みを推進するため、教員個々の教育・研究活動に係る PDCA を毎年度明示します。

スタッフ・ディベロップメント（SD）として、全ての教職員は、その専門性と資質の向上のための取り組みを推進します。SD 推進に係る基本方針と年次計画を定め、計画的な取組

みを推進します。教職協働に対応するため、専門性、資質の高度化に向けた研修を行います。

C・学生の大学運営への参加

学生の学修ニーズへの対応や学修環境の整備を進めていくために、学生の意見をFDや委員会活動等を通じ積極的に取り入れ、大学運営に活かしていきます。

※3つのポリシー（方針）：アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中長期計画の進捗・達成状況について：

本年度（中長期計画1年目）の進捗・達成状況につきましては、次年度の事業報告書にて報告いたします。

資金収支の状況

(財務に関する中長期計画)

収入の部

科 目	決算					補正予算		予算書より				(単位：千円)
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
学生生徒等納付金収入	3,047,369	2,916,854	2,895,187	2,819,171	2,858,566	2,975,668	3,092,747	3,154,145	3,182,385	3,118,705	3,078,905	
手数料収入	28,742	29,157	27,245	28,463	28,948	29,628	31,898	31,898	31,898	31,898	31,898	
寄付金収入	4,177	1,971	630	9,574	14,631	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	
補助金収入	411,163	403,379	413,861	334,662	366,314	355,049	339,668	339,668	339,668	339,668	339,668	
資産売却収入	61,550	861,724	1,803,083	1,104,734	1,009,879	1,024,277	1,003,697	1,003,697	1,003,697	1,003,697	1,003,697	
付随事業・収益事業収入	586,548	643,838	575,499	584,938	638,645	606,321	613,997	613,997	613,997	613,997	613,997	
受取利息・配当金収入	10,730	7,341	11,161	11,552	7,933	4,457	4,263	4,263	4,263	4,263	4,263	
雑収入	219,245	108,090	220,650	90,611	159,571	146,110	120,337	128,050	159,684	172,654	148,683	
前受金収入	676,869	668,022	713,365	705,274	776,695	758,403	798,351	727,661	734,176	719,485	710,303	
その他の収入	247,844	265,678	156,768	472,526	137,106	199,866	184,838	146,628	169,251	200,885	213,855	
資金収入調整勘定	△ 877,761	△ 750,707	△ 874,762	△ 779,560	△ 839,749	△ 891,241	△ 834,738	△ 897,309	△ 858,253	△ 877,738	△ 839,076	
経常的収入小計	4,416,476	5,155,347	5,942,687	5,381,945	5,158,539	5,210,873	5,357,393	5,255,033	5,383,101	5,329,849	5,308,528	
前年度繰越支払資金	4,222,639	3,713,241	3,471,372	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,201,843	3,481,027	3,530,523	3,815,739	4,063,120	
収入の部合計	8,639,115	8,868,588	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,647,738	8,559,236	8,736,060	8,913,624	9,145,588	9,371,648	

支出の部

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	2,413,614	2,264,285	2,339,896	2,145,641	2,217,902	2,244,060	2,247,014	2,250,373	2,282,007	2,294,977	2,271,006
教育研究経費支出	848,117	812,395	800,025	820,829	807,311	959,177	854,675	864,675	864,675	864,675	864,675
管理経費支出	553,580	550,287	539,051	589,564	545,397	620,604	601,540	601,540	601,540	601,540	601,540
借入金等利息支出	42,012	37,788	33,882	29,977	26,072	22,168	17,691	14,358	10,452	6,547	2,642
借入金等返済支出	239,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540	189,540
施設関係支出	14,024	1,324	4,860	100,344	562	24,721	19,968	20,000	20,000	20,000	20,000
設備関係支出	52,561	83,434	67,489	132,915	28,836	240,494	95,720	213,159	77,779	146,859	110,459
資産運用支出	700,000	1,400,000	2,100,000	1,400,001	1,100,000	1,000,001	1,000,001	1,000,001	1,000,001	1,000,001	1,000,001
その他の支出	215,752	214,362	216,174	230,047	248,190	279,802	192,230	192,061	192,061	192,061	285,623
資金支出調整勘定	△ 153,326	△ 156,199	△ 152,220	△ 201,998	△ 221,688	△ 134,672	△ 140,170	△ 140,170	△ 140,170	△ 233,732	△ 140,170
経常的支出小計	4,925,874	5,397,216	6,138,697	5,436,860	4,942,122	5,445,895	5,078,209	5,205,537	5,097,885	5,082,468	5,205,316
翌年度繰越支払資金	3,713,241	3,471,372	3,275,363	3,220,448	3,436,865	3,201,843	3,481,027	3,530,523	3,815,739	4,063,120	4,166,332
支出の部合計	8,639,115	8,868,588	9,414,059	8,657,308	8,378,987	8,647,738	8,559,236	8,736,060	8,913,624	9,145,588	9,371,648

※平成26年度については新会計基準に合わせて組み替えている。

事業活動収支の状況

(財務に関する中長期計画)

		決算	決算	決算	決算	決算	補正予算	予算書より					
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(単位:千円)
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,047,369	2,916,854	2,895,187	2,819,171	2,858,566	2,975,668	3,092,747	3,154,145	3,182,385	3,118,705	3,078,905
		手数料	28,742	29,157	27,245	28,463	28,948	29,628	31,898	31,898	31,898	31,898	31,898
		寄付金	4,177	1,971	630	9,574	14,631	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335
		経常費等補助金	411,163	403,379	403,144	334,662	366,314	355,049	339,668	339,668	339,668	339,668	339,668
		付随事業収入	586,548	643,838	575,499	584,938	638,645	606,321	613,997	613,997	613,997	613,997	613,997
		雑収入	219,246	108,866	220,798	90,658	162,239	146,058	120,285	127,998	159,632	172,602	148,631
		教育活動収入計	4,297,245	4,104,065	4,122,503	3,867,466	4,069,343	4,115,059	4,200,930	4,270,041	4,329,915	4,279,205	4,215,434
	事業活動支出の部	人件費	2,334,484	2,254,794	2,272,640	2,151,132	2,213,213	2,426,811	2,212,816	2,253,785	2,279,081	2,261,430	2,234,558
		教育研究経費	1,206,463	1,140,618	1,129,682	1,137,034	1,120,459	1,283,790	1,180,686	1,182,295	1,102,394	1,125,845	1,133,410
		管理経費	678,749	684,152	643,929	688,677	647,865	722,520	710,146	710,993	683,442	691,528	694,137
		徴収不能額等	634	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	4,220,330	4,079,564	4,046,251	3,976,843	3,981,537	4,433,121	4,103,648	4,147,073	4,064,917	4,078,803	4,062,105
		教育活動収支差額	76,915	24,501	76,252	△ 109,377	87,806	△ 318,062	97,282	122,968	264,998	200,402	153,329
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	10,740	7,341	11,161	11,552	7,933	4,457	4,263	4,263	4,263	4,263
		その他の教育活動外収入	1	25	15	9	3	52	52	52	52	52	
		教育活動外収入計	10,741	7,366	11,176	11,561	7,936	4,509	4,315	4,315	4,315	4,315	4,315
事業活動支出の部		借入金等利息	42,012	37,788	33,883	29,977	26,072	22,168	17,691	14,358	10,452	6,547	2,642
		その他の教育活動外支出	63	62	50	38	9	65	65	65	65	65	65
		教育活動外支出計	42,075	37,850	33,933	30,015	26,081	22,233	17,756	14,423	10,517	6,612	2,707
	教育活動外収支差額	△ 31,334	△ 30,484	△ 22,757	△ 18,454	△ 18,145	△ 17,724	△ 13,441	△ 10,108	△ 6,202	△ 2,297	1,608	
	経常収支差額	45,581	△ 5,983	53,495	△ 127,831	69,661	△ 335,786	83,841	112,860	258,796	198,105	154,937	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	18,639	3,083	3,065	2	3,387	1,922	1,922	1,922	1,922	1,922
		その他の特別収入	56,753	1,191	13,823	4,726	1,780	1,076	1,076	1,076	1,076	1,076	1,076
		特別収入計	56,753	19,830	16,906	7,791	1,782	4,463	2,998	2,998	2,998	2,998	2,998
	事業活動支出の部	資産処分差額	12,877	16,619	6,953	1,734	53,416	235,274	2	2	2	2	2
		その他の特別支出	0	0	0	4,018	0	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	12,877	16,619	6,953	5,752	53,416	235,274	2	2	2	2	2
	特別収支差額	43,876	3,211	9,953	2,039	△ 51,634	△ 230,811	2,996	2,996	2,996	2,996	2,996	
	基本金組入前当年度収支差額	89,457	△ 2,772	63,448	△ 125,792	18,027	△ 566,597	86,837	115,856	261,792	201,101	157,933	
	基本金組入額合計	△ 310,950	△ 195,755	△ 200,607	△ 384,379	△ 153,591	0	△ 289,350	△ 406,821	△ 271,441	△ 340,521	△ 304,121	
	当年度収支差額	△ 221,493	△ 198,527	△ 137,159	△ 510,171	△ 135,564	△ 566,597	△ 202,513	△ 290,965	△ 9,649	△ 139,420	△ 146,188	
	前年度繰越収支差額	△ 2,251,170	△ 2,471,037	△ 2,669,564	△ 2,806,170	△ 3,316,341	△ 3,451,905	△ 3,700,339	△ 3,902,852	△ 4,193,817	△ 4,203,466	△ 4,342,886	
	基本金取崩額	1,626	0	553	0	0	318,163	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 2,471,037	△ 2,669,564	△ 2,806,170	△ 3,316,341	△ 3,451,905	△ 3,700,339	△ 3,902,852	△ 4,193,817	△ 4,203,466	△ 4,342,886	△ 4,489,074	
(参考)													
	事業活動収入計	4,364,739	4,131,261	4,150,585	3,886,818	4,079,061	4,124,031	4,208,243	4,277,354	4,337,228	4,286,518	4,222,747	
	事業活動支出計	4,275,282	4,134,033	4,087,137	4,012,610	4,061,034	4,690,628	4,121,406	4,161,498	4,075,436	4,085,417	4,064,814	

※平成26年度については新会計基準に合わせて組み替えている。